

令和5年度 事業評価シート

所属名	経済部 農水産課
-----	----------

1. 基本情報

事業名称	水産物ブランド推進事業費	
実施根拠 (条例・規則・要綱等)	船橋市補助金等の交付に関する規則（昭和56年4月30日施行） 船橋市農林水産振興事業補助金等交付要綱（平成13年4月1日施行）	
事業開始年月日	平成18年4月1日	
最終改正年月日	平成30年4月1日	
事業目的 (実現・達成したいこと)	船橋産の魚介類のPR及びブランド化の推進のため、市内外に船橋産水産物のPRを行い、認知度を高める。	
事業概要 (誰に、何を、どうするのか)	スズキ、コノシロ、海苔、アサリ、ホンビノス貝等の水産物のブランド化を図るため、消費者向けに市内外でPRイベントをおこない知名度の向上に努める。また、消費拡大を図るための資材に助成をおこなっている。	
実施背景 (事業を実施することになった背景・要因)	平成17年に船橋市漁業協同組合から海苔のブランド化について要望があり、翌年から事業を開始。その後、スズキ、ホンビノス貝などのブランド化についての要望が上がり現在にいたる。	
これまでの経緯 (対象者・要件・限度額、サービス内容などの制度の変遷)	平成18年度 海苔のブランド化推進を図るため開始。補助率は75%。 平成30年度 主要3品のブランド認定を機に補助率を50%に改正。 <参考> 認定ブランド水産物 ①アサリ：「船橋三番瀬海苔」(「本場の本物」認定 H19.2.21認定 本場の本物推進協議会) ②スズキ：「江戸前船橋瞬みすずき」(「千葉ブランド水産物」 H27.11.2認定 千葉県) ③ホンビノス貝：「三番瀬ホンビノス貝」(「千葉ブランド水産物」 H29.11.20認定 千葉県)	
事業内容	対象者	内容 (要件・単価・限度額・サービス内容など)
	・50会場にて82回イベントに出店し、船橋の水産物をPRした（令和元年度実績）。 ・消費拡大を図るため、直売所「三番瀬みなとや」で販売する際の資材に助成を行った。 ・船橋産ホンビノス貝、スズキを活用したTV番組取材対応に必要な資材、材料、交通費実費への助成をおこなった。	

2. 事業実績

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費 (単位：千円)	当初予算額	2,000	2,000	2,000	1,000
	うち一般財源	2,000	2,000	2,000	1,000
	決算(見込)額	1,575	395	79	65
対象者数・ 交付件数など	交付件数	1	2	1	1

3. 交付税、国・県補助の有無

	有無	(ありの場合) 名称・内容
交付税措置	なし	
国・県補助	なし	
(国・県補助への) 上乗せ・横出し	なし	

4. 業務量

繁忙期	4月～9月				
業務頻度 (年1回・月1回など)	イベント調整・開催業務 (4月～9月) 補助金事務 (随時)				
人工		常勤職員	会計年度任用職員	再任用(フル)	再任用(短)
	人工	0.3人工			
	従事者数	1人			

※ 職員1人の労働力 = 1人工。当該事業の人工を記載。複数人が携わっている場合は、それぞれの人工を合計。

【記載方法】 従事者2人、労働力の割合がそれぞれ3割の場合 ⇒ 合計0.6人工(0.3人工+0.3人工)

評価結果

所管課	経済部 農水産課
事業名称	水産物ブランド推進事業

(1) 一次評価（自主点検）で明らかとなった課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目	課題	今後の方向性
1 ブランドの継続性・安定性	・漁協単独でのイベント実施やPRは財政面や人員面から困難である。	・ブランドを維持するため、事業を継続しながら定期的な取組の検証や漁協へのフィードバックを行う。 ・市民意識調査等を活用し認知度を把握する。
2 ブランド水産物漁獲量の減少	・温暖化等による環境の変化や過剰な漁獲等によりホンビノス貝の漁獲量が近年減っており、安定的な供給が難しくなっている。	・船橋産ブランド水産物のレパートリーを増やすことで、1品目の漁獲に左右されず、ブランド全体の安定供給を図る。これにより、将来的なブランド力の維持を図る。

(2) 追加で整理した課題、今後の方向性（改善のアイデア）

項目	課題	今後の方向性
1 ブランドの継続性・安定性	—	—
2 ブランド水産物漁獲量の減少	—	—